



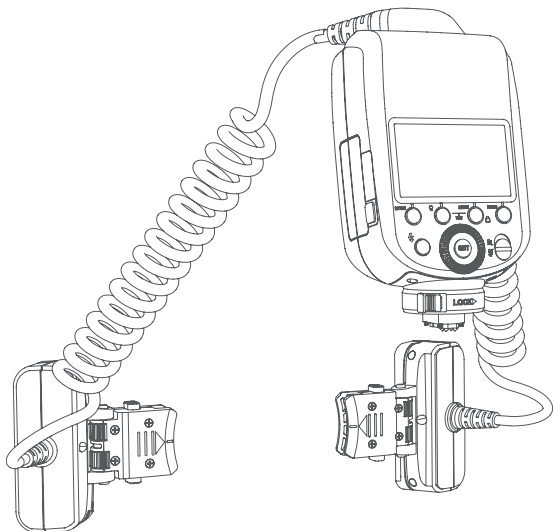
GODOX WeChat
公式アカウント

製造者： 深圳市神牛摄影器材有限公司
所在地： 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟
電話： 0755-29609320(8062) FAX: 0755-25723423
メールアドレス： godox@godox.com ウェブサイト： godox.com



Copyright © 2026 Godox All Rights Reserved.
中国製 Made in China | 705-MFT76C-04

Godox



MF-T76

取扱説明書

重要な安全指示

本製品はプロフェッショナル用の撮影機器であり、専門の方が操作・使用してください。ご使用の際は、以下の基本的な安全予防措置を必ず遵守してください。ご使用前には、製品に付属しているすべての輸送用保護材および包装を必ず取り外してください。

1. 本製品をご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分にご理解のうえ、記載されている安全指示に従って操作してください。これに従わない場合、重大なけがや製品の損傷、その他財産の損失などの安全上のリスクが生じるおそれがあります。
2. フラッシュ作動時には高電圧が発生し、電源を切った後でも機器内部のコンデンサには一定時間電気が残ります。
3. 本製品は業務用照明器具のため、児童の使用は禁止されています。お子様が本製品に近づく際は、必ず保護者が厳重に監督し、児童が本機に接触したり、無断で使用したりして事故やけがを引き起こさないよう十分ご注意ください。
4. 本製品は一般的な照明器具ではなく、通常の照明用途にはご使用いただけません。眼部に障害がある方や目が敏感な方は本製品のご使用および直視をお控えください。光感受性でんかんの方は絶対にご使用にならないでください。
5. ご使用の際は充分にご注意いただき、フラッシュヘッドおよびその付近の金属部など高温部位には絶対に触れないでください。やけどの原因となります。
6. いかなる状況でも、フラッシュを人の目（特に乳幼児の目）に直接向けて発光しないでください。短時間であっても視力障害を引き起こす恐れがあります。目に不快感を覚えた場合は、直ちに灯具の電源を切り、ご使用を中止し、速やかに医師の診察を受けてください。
7. フラッシュチューブまたはLED モデリングランプが破損または熱変形した場合は、直ちにご使用を中止し、事故防止のため、速やかに製造元、サービス代理店、または有資格の修理担当者へご連絡の上、交換してください。
8. 損傷した機器または付属品は絶対に使用しないでください。必ず専門の修理担当者による点検および修理・正常確認後にご使用ください。
9. ご使用中に本製品が落下・圧迫・強い衝撃などにより外装が破損した場合は、直ちにご使用を中止し、感電や怪我を防ぐため、内部電子部品には絶対に触れないでください。
10. 本機器は防水仕様ではありません。必ず乾燥した状態を維持し、水やその他の液体に浸さないでください。通気性の良い乾燥した場所に設置し、雨天時、湿気が多い場所、多量のほこりや高温環境での使用はお避けください。機器の上に物を置いたり、液体が内部に流入しないようご注意ください。これにより危険を防止できます。
11. 許可なく本製品を取り外ししないでください。製品に不具合が発生した場合は、必ず当社または認定修理担当者による点検および修理を受けてください。
12. 機器を保管する際は、十分に冷却されていることをご確認ください。機器バッグや通気性の良い乾燥した場所に保管してください。
13. 本機器は、アルコール、ガソリン等の可燃性揮発性溶剤や、メタン・エタン等の可燃性

ガスの近くに設置しないでください。

14. 本機器は、爆発の危険がある環境での使用および保管を禁止します。
15. 弊社が認可していない付属品のご使用はお控えください。火災、感電、または人身事故につながるおそれがあります。
16. 機器を清掃する際は、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。濡れた布のご使用は、機器の損傷原因となりますのでおやめください。
17. 本取扱説明書は厳正な試験に基づいて作成されていますが、設計および仕様は予告なく変更される場合があります。弊社公式ウェブサイトにて、最新の電子版取扱説明書および製品に関する最新情報をご確認いただけます。
18. 本製品には標準でリチウム電池が付属しています。必ず正しい操作手順に従い、規定の電圧および温度範囲内でご使用ください。
19. 本製品はリチウム電池で動作します。この種のリチウムイオン電池には寿命があり、通常は300～500回の完全な充放電サイクルが有効寿命となります。使用頻度や経過時間の増加に伴い、最大蓄電容量は徐々に低下しますが、これは正常な現象です。定期的に電池の状態を確認し、充電時間が著しく長くなったり、連続使用時間が明らかに短くなった場合は、新しい電池への交換をご検討ください。
20. リチウム電池の保管については、以下を推奨します。保管前に電池の残量を約50%に調整してください。少なくとも6か月ごとに電池の残量を約50%まで充電してください。長期間充電せずに放置すると、過放電により電池性能が永久的に低下、あるいは廃棄時は、取り外し可能な電池を分けて保管してください。保管温度は0°Cから40°Cの範囲内にしてください。
21. 本製品はリチウム電池を使用しています。次の点にご注意ください。
 - ・ 電池を取り外したり、押し潰したり、穴を開けたりしないでください。
 - ・ 電池には防水機能がありません。電池を霧や水中に浸さないでください。
 - ・ 電池の端子が短絡しないようご注意ください。
 - ・ 電池を火に近づけたり、火の中に入れてたりしないでください。
 - ・ 電池の処分は火中や水中で行わないでください。
 - ・ 電池を60°C以上の高温にさらさないでください。
 - ・ 電池はお子様の手が届かない場所に保管してください。
 - ・ 電池に過度な衝撃または振動が加わることのないようご注意ください。
 - ・ 破損した電池はご使用にならないでください。
 - ・ 電池から液漏れが発生した場合は、漏れた液体に触れないようにしてください。
 - ・ 万が一、電池の液体が目に入った場合は、直ちに水で15分以上洗眼し、まぶたを開けて液体が残っていないことを確認してください。速やかに医師の診察を受けてください。
22. 電池を廃棄する際は、必ず現地の関連法令を事前に確認し、これを遵守してください。
23. 本機器の保証期間は1年間です。消耗品（電池）、アダプター、電源コード等の付属品は保証の対象外です。無断で修理を行った場合、保証は無効となり、修理費用が発生します。
24. リチウム電池を受け取った際は、直ちに電池の状態および電力量を確認し、万一品質に

問題があった場合は、保証期間内に Godox または Godox 認定販売店までご連絡ください。

25. 不適切な操作による故障は、保証の対象外となります。

26. 製品をアダプターと併用する際（充電モードなど）は、使用環境温度が 40 度を超えないようにしてください。

目次

- 01 **はじめに**
- 01 **主な特長**
- 02 **同梱品一覧**
- 03 **部品名称**
 - コントローラー
 - フラッシュヘッド
 - 取付リング
 - ディスプレイ
- 06 **取り付け・取り外し**
 - 電池
 - コントローラー
 - フラッシュヘッド
 - ソフトボックス
- 08 **電源スイッチ**
- 08 **発光モード**
 - TTL 自動発光
 - マニュアル発光
- 10 **操作モード**
 - TX 主制御モード
 - RX 子機モード
- 11 **メニュー設定**
- 12 **その他の機能設定**
 - モデリングランプ
 - ディスプレイのロック
 - 同期インターフェースによるトリガー
 - 工場出荷時設定へリセット
- 13 **ワイヤレス多重発光撮影 (2.4G 無線伝送)**

TTL 自動発光によるワイヤレス多重発光撮影
M マニュアル発光によるワイヤレス多重発光撮影
異なる発光モードによるワイヤレス多重発光撮影

- 15 **Godox 2.4G ワイヤレス発光不良の原因と解決方法**
- 16 **過熱保護**
- 17 **その他の保護機能**
- 17 **故障診断ガイド**
- 18 **カメラ対応一覧**
- 18 **ファームウェアアップグレード**
- 19 **技術仕様**
- 20 **保守・点検**

はじめに

このたびは Godox 製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

MF-T76 は、TTL 対応のデュアルヘッドマクロフラッシュで、角度調整が可能です。昆虫・植物・宝石・口腔歯科などのマクロ撮影に最適です。

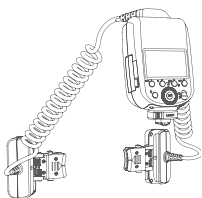
- ・ MF-T76 C はキヤノンカメラ用
- ・ MF-T76 S はソニーカメラ用
- ・ MF-T76 N はニコンカメラ用

注：本マニュアルは MF-T76 C の製品およびインターフェース図を例として使用しています。機種ごとの詳細は実際の商品をご確認ください。

主な特長

- ・ **デュアルフラッシュユニット**：2 灯独立設定、付属の取付リングで発光角度を調整可能。
- ・ **2.4G ワイヤレス X システム**：マスター / 子機モード切替対応。
- ・ **精密な光制御**：出力範囲 1/256 ~ 1/1、ステップ 1/3。
- ・ **卓越した性能**：フル充電時、最大出力で約 550 回発光可能。
- ・ **内蔵モデリングランプ**：1 ~ 10 段階で明るさ調整可能。

同梱品一覧



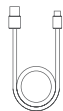
ライト本体 × 1



充電器 × 1



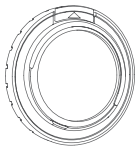
リチウム電池 × 1



USB-C - USB-A データケーブル × 1



ソフトボックス × 2



取付リング × 1



49mm



52mm



55mm



58mm



62mm



67mm



72mm



77mm

レンズ取付用アダプターリングセット AR-R Kit × 1



収納袋 × 1



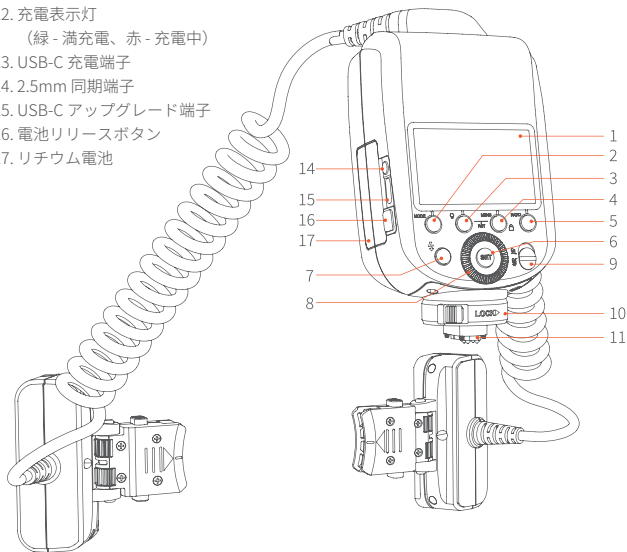
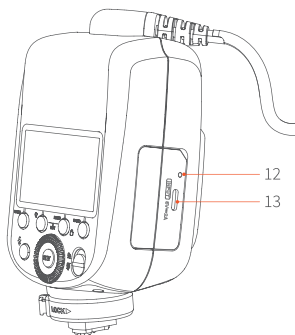
取扱説明書 × 1

部品名称

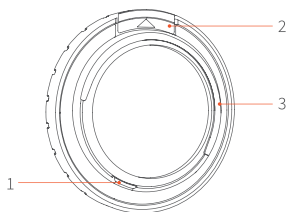
コントローラー

1. ディスプレイ
2. <MODE> モードキー
3. <Q> モデリングランプキー
4. <MENU/△> メニュー/画面
ロックキー
5. <RATIO> 比率キー
6. <SET> 設定キー
7. テスト発光キー/チャージイン
ジケーター (緑: チャージ完了、
赤: 充電中)
8. 調整ダイヤル
9. 電源スイッチ
10. ホットシュー固定リング
11. ホットシュー
12. 充電表示灯
(緑 - 満充電、赤 - 充電中)
13. USB-C 充電端子
14. 2.5mm 同期端子
15. USB-C アップグレード端子
16. 電池リリースボタン
17. リチウム電池

同時に長押し
すると初
期化が実行さ
れます

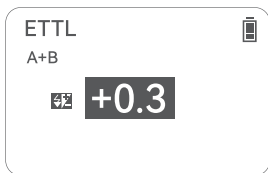


取付リング



1. 取り外し口
2. 取付位置／取付インジケータ
3. アダプターリング接続口

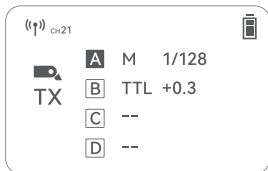
ディスプレイ



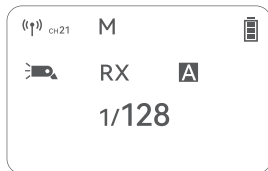
TTL 自動発光モード



M マニュアル発光モード



主制御モード

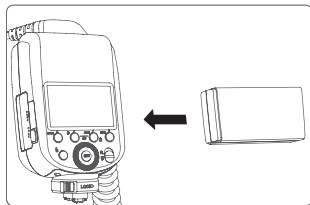


子機モード

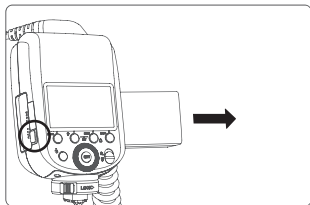
取り付け・取り外し

・ 電池

取付: 図示のとおり正しい向きで電池を電池室へ押し込み、確実に固定されるまで挿入してください。



取り外し: 電池リリースボタンを押しながら、電池を右側に押し出してください。

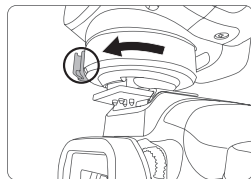


・ コントローラー

取付: ホットシューのロックリングを左に回して上まで移動させ、ホットシューをカメラのホットシュー端子にスライド挿入した後、ロックリングを右に回して固定してください。



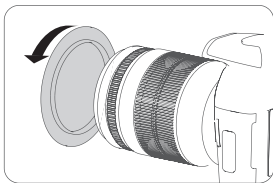
取り外し: ロックリングのボタンを押しながら左に回してロックを解除し、コントローラーを取り外してください。



・フラッシュヘッド

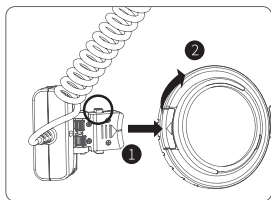
取付

→ 付属のレンズアダプターリングをカメラレンズの前面に取り付けてください。

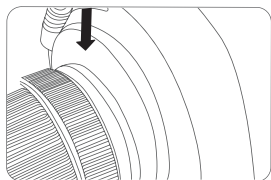


→ 取付リングの位置を押さえながら、フラッシュヘッドを正しい向きに合わせて取り付けます。本箇所に合わせて挿入し、確実にロックされるまで押し込んでください。

→ フラッシュヘッド両側の解除ボタンを押しながら、ヘッド位置を調整できます。



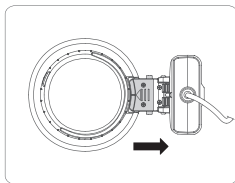
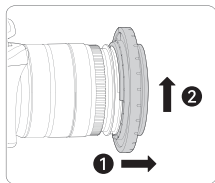
→ 取付リングの接続部をアダプターリングに合わせ、垂直に差し込みロックしてください。



取り外し

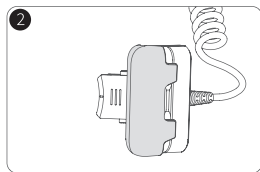
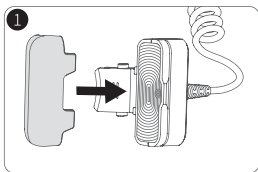
→ 取付リングを外側に引き上げてロックを解除し、上方にスライドさせて取り外します。

→ フラッシュヘッドを取付位置まで移動させ、外側に引き抜いてください。



・ソフトボックス

短いマウント部をライトヘッド上部のスロットに、長いマウント部を下部のスロットに合わせ、押し込んで確実にロックされるまで装着してください。



電源スイッチ

電源の入れ方: スイッチノブを ON 位置に合わせてください。

電源の切り方: スイッチノブを OFF 位置に合わせてください。

発光モード

<MODE> キーを短押しして、TTL / M モードを切り替えます。

・ TTL 自動発光

フラッシュはカメラの測光システムと連携し、自動的に最適なフラッシュ出力に調節されます。本モードでは、シャッターリリース前にプリ発光が行われ、フラッシュがカメラ情報を受信してメイン発光を行います。

発光露出補正: 範囲 -3.0 ~ +3.0、ステップ 1/3。

1. 全体の露出補正の設定

<RATIO> キーを短押ししてディスプレイに「A+B」を表示し、ダイヤルを回して露出補正を設定します。



2. A:B 発光比の設定方法

短押しで<RATIO>ボタンを押すと、ディスプレイに「A:B 光比值」が表示されます。ダイヤルを回して光比を設定します(範囲: 8:1~1:1~1:8、ステップ: 1/2)。短押しで<SET>ボタンを押しながら、ダイヤルを回して露出補正を設定します。



3. 単灯の露出補正設定方法

短押しで<RATIO>ボタンを押すと、ディスプレイに「左 A 右 B」が表示されます。短押しで<SET>ボタンを使用し、A/B ライトヘッドの設定を切り替えます。ダイヤルを回して露出補正を設定します。



- 注: 1. 発光露出補正を解除する場合は、露出補正を「0.0」に設定してください。
2. 発光比の設定については、詳細を以下に示します。

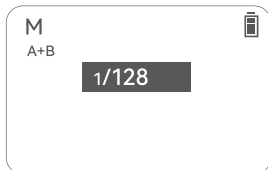


・ マニュアル発光

発光出力はマニュアルで設定できます (1/256 から 1/1 までの範囲、ステップは 1/3)。

1. 全体の発光出力を設定する

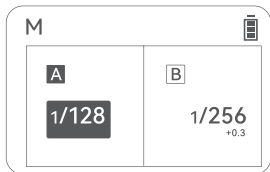
<RATIO> キーを短押ししてディスプレイに「A+B」を表示させ、ダイヤルを回して発光出力を設定します。



2. A:B の発光出力の設定

<RATIO> キーを短押ししてディスプレイに「左 A 右 B」および両側の発光出力値が表示されます。

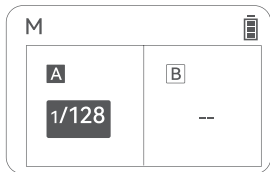
短押しで<SET> ボタンを使用し、A/B ライトヘッドの設定を切り替えます。ダイヤルを回して発光出力を設定します。



3. 単灯の発光出力の設定

短押し<RATIO> キーでディスプレイに「左 A 右 B」と片側の発光出力値が表示されます。

短押し<SET> キーで A/B ライトヘッドの設定を切り替え、ダイヤルを回して発光出力を設定します。



操作モード

- 短押し<MENU/⏏> キーでメニューに入ります。
- ダイヤルを回して「WIRELESS」を選択し、短押し<SET> キーで決定します。
- ダイヤルを回して OFF/TX/RX を順に切り替え、短押し<SET> キーで確定します。
- <MENU/⏏> キーを短押しするとメニュー画面を閉じます。

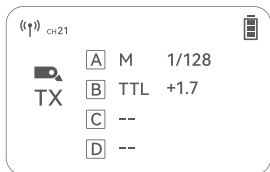
• TX マスター制御モード

他の Godox X システムフラッシュをワイヤレスで制御できます。

ダイヤルを回してグループを選択し、<SET> キーを短押ししてグループを確定、<MODE> キーを短押しして TTL/M/-- (オフ) を切り替えます。ダイヤルを回して露出補正または発光出力を設定してください。

マスターグループ:

- A、B、C、Dグループ (MF-T76C)
- M、A、B、Cグループ (MF-T76S/N)



・RX子機モード

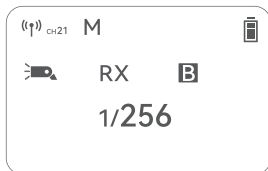
スレーブユニットとしてワイヤレス発光信号を受信します。

<SET> キーを短押しし、またはダイヤルを回してグループを切り替えます。

子機グループ:

A、B、C、Dグループ (MF-T76 C)

A、B、Cグループ (MF-T76 S/N)



メニュー設定

→<MENU/⏏> キーを短押ししてアクセスします。

→ダイヤルを回して必要な項目を選択してください。

→<SET> キーを短押しし、ダイヤルを使用して設定します。

→<SET> キーを短押しして確定し、前の階層に戻ります。

→<MENU/⏏> キーを短押ししてメニューを終了します。

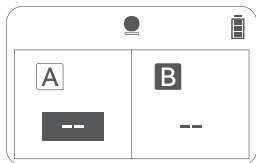
第1階層オプション	第2階層オプション	説明
WIRELESS(ワイヤレス)	OFF	ワイヤレスをオフにすると、フラッシュはカメラ上モードになります。
	TX	ワイヤレスマスターライトをオンにする
	RX	ワイヤレススレーブをオンにする
CH(チャンネル)	01-32	32チャンネル
ID(識別番号)	OFF, 01-99	ID オフ / 99 種類の ID 番号選択可能
TX FLASH (マスターライト発光) (MF-T76 Cのみ対応)		マスターライト使用時、マスターライトの発光をオフにする
		マスターライト使用時、マスターライトの発光をオンにする
TCM (TTL 測光値から M 出力値へ変換)	OFF	この機能は有効ではありません
	ON	MODE キーを短押しすることで TCM 変換が可能です。本機能はワイヤレス発光または片側発光には対応していません使用
SYNC (シンクロ)		フロントカーテンシンクロ
		ハイスピードシンクロ (この状態では M モードで最小出力 1/32 に設定可能)
		後幕シンクロ (MF-T76 C のカメラ上モードのみ対応)
RF DIST (発光距離)	0.3-10m	近距離撮影に適しています
	1-100m	遠距離撮影に適しています

MODEL (モデリングランプ)	● CONT	フラッシュ発光時、モデリングランプは消灯しません
	⊕ INTER	フラッシュ発光時、モデリングランプは消灯します
STBY (マスターライトスリープ)	ON	マスターライト使用時、100 秒間操作がない場合はスリープに入ります
	OFF	この機能は有効ではありません
RX STBY (スリーブスリープ)	60 mins	子機ライトとして使用時、無操作が 60 分続くとスリープに入ります
	30 mins	子機ライトとして使用時、無操作が 30 分続くとスリープに入ります
	OFF	この機能は有効ではありません
BL (バックライト)	12 secs	無操作が 12 秒続くとディスプレイのバックライトが消灯します
	OFF	ディスプレイのバックライト消灯
	ON	ディスプレイのバックライト常時点灯
LCD(表示画面コントラスト)	-3~+3	7つのレベル

その他の機能設定

・モデリングランプ

- < Q > キーを長押しすると設定画面に入ります。
- 短押し< SET >キーで A / B モデリングランプを切り替えます。
- 短押し< Q >キーでオン/オフを切り替えます。
- オンの状態でダイヤルを回して、明るさを設定します (範囲: 01 ~ 10 段階)。
- 長押し< Q >キーでメインインターフェースに戻ります。



メインインターフェースで< キーを押すと < Q > キーでモデリングランプを素早くオン/オフできます:

短押し 1 回でモデリングランプ A のオン/オフ

短押し 2 回でモデリングランプ B のオン/オフ

・ディスプレイロック

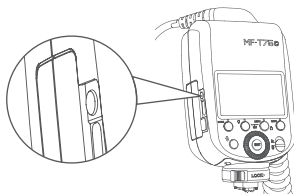
長押し < MENU / ⏏ > キーで現在の画面をロック/解除します。



注：メニュー画面では、長押し<MENU/△>キーは反応せず、ロック機能は使用できません。

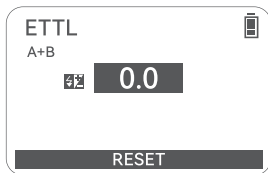
・同期インターフェースによるトリガー

インターフェースの仕様はφ2.5mmであり、ここに同期用ケーブルを挿入することで同期発光が可能です。



・工場出荷時設定へリセット

<L>キーと<Q>キー、<MENU/△>キーを同時に長押ししてください。ディスプレイに「RESET」と表示され、「RESET」が消えるとリセットが完了します。



ワイヤレス多重発光撮影 (2.4G 無線伝送)

本章では、フラッシュ MF-T76 をマスターとして、2.4G ワイヤレス受信機能を備えた (別売) フラッシュと組み合わせてワイヤレス多重発光撮影を行う方法について説明します。例：外部撮影用ライト AD100Proll / AD200Proll / AD600Proll / AD600BMII；フラッシュ MF-T76 / iT32 / iT30Pro / V100 / V480、レトロライト LUX Master など。

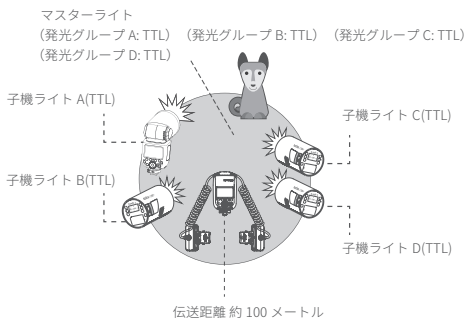
本章では、カメラに取り付けられた MF-T76 を「マスターライト」とし、制御対象のフラッシュを「子機ライト」と呼称します。

注：

1. マスターライトと子機ライトは、グループ、チャンネル、識別番号を同一に設定してください。
2. MF-T76 は制御可能な子機ライトの機種が多数存在しますが、上記は一部のみを記載しています。
3. MF-T76 S/N のマスターライトには D グループがありません。

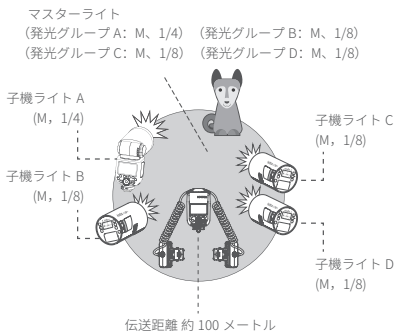
・ TTL 自動発光によるワイヤレス多重発光撮影

マスターライトの発光グループ (A、B、C、D) をすべて TTL モードに設定し、必要な露出補正を行ってください。子機ライトは割り当てられたグループ設定に自動で従い撮影が行われます。



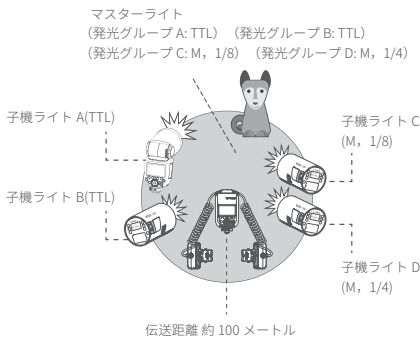
・ M マニュアル発光によるワイヤレス多重発光撮影

マスターライトの各発光グループ (A、B、C、D) をすべて M モードに設定し、必要な発光出力を設定してください。子機ライトは所属グループの設定に従い自動的に発光します。



・異なる発光モードによるワイヤレス多重発光撮影

マスターライトの発光グループ (A、B、C、D) へそれぞれ異なる発光モードと、ご希望の露出補正/発光出力を設定してください。子機ライトは所属するグループの設定に自動的に従い、発光撮影が行われます。



- 注: 1. カメラの撮影モードが全自動モードまたはプログラム画像制御ゾーンモードに設定されている場合、本章の操作はご利用いただけません。ワイヤレス発光を操作するには、カメラの撮影モードを P/Tv/Av/M/B (クリエイティブ撮影ゾーンモード) に設定してください。
2. 干渉を避けるため、マスターライトと子機ライトの間に障害物がないようにしてください。
3. ワイヤレス多重発光撮影を開始する前に、テスト発光および試し撮りを行ってください。

Godox 2.4G ワイヤレス発光不良の原因と解決方法

1. 外部環境による干渉 (無線基地局、2.4G WiFi ルーター、Bluetooth 機器など)

→ 解決方法: チャンネル CH の設定を調整してください (+10 を推奨)。干渉のないチャンネルを選択し、作業中は他の 2.4G 機器の電源を切ってください。

2. フラッシュがすでにチャージされているか、チャージ速度が連写速度に追いつているか、また、過熱保護やその他の異常状態になっていないかをご確認ください。

→ 解決方法: フラッシュの出力レベルを下げてください。TTL モードの場合は M モードへ切り替えることをお試しください (TTL モードでは一度プレ発光が必要です)。

3. マスターライトと子機ライトの距離が近すぎます。

→ 解 → 解決方法: 発光距離を 0.3 ~ 10m に設定してください。

4. 機器の電池残量が少なくなっています

→ 対処方法: 電池を交換するか、速やかに充電してください。

5. フラッシュのファームウェアが旧バージョンです


→ 対処方法: フラッシュのファームウェアをアップグレードしてください。

6. カメラのファームウェアが旧バージョンです

→ 対処方法: カメラのファームウェアをアップグレードしてください。アップグレードの詳細手順については、カメラの取扱説明書をご参照ください。

過熱保護

フラッシュヘッドの過熱および故障を防ぐため、1/1 出力時に 40 回を超える高速連続発光、またはハイスピードシンクロかつ 1/1 出力時に 30 回を超える高速連続発光は行わないでください。

表に記載された回数を超えてさらに連続して発光を行うと、過熱保護が作動する場合があります、ディスプレイ右上に  が表示されます。このような場合は、フラッシュを 10 分間冷却してください。

過熱保護機能が作動する連続発光回数

段階	連続発光回数
1/1、1/2+0.7	40
1/2+0.3	50
1/2	60
1/4+0.3、1/4+0.7	100
1/4	120
1/8 (+0.3、+0.7)	200
1/16 (+0.3、+0.7)	300
1/32 (+0.3、+0.7)	500
1/64 (+0.3、+0.7)	1000
1/128 (+0.3、+0.7)、1/256 (+0.3、+0.7)	2000

ハイスピードシンクロモード時、過熱保護が作動するまでの連続発光回数

段階	連続発光回数
1/1	30
1/2 (+0.3、+0.7)	30
1/4 (+0.3、+0.7)	34
1/8 (+0.3、+0.7)	40
1/16 (+0.3、+0.7)	50
1/32 (+0.3、+0.7)	

その他の保護機能

ディスプレイ表示	警告内容
E0	機器内部の温度センサーに異常があります。修理を行ってください。
E1	フラッシュのチャージシステムに異常が発生し、発光できません。再起動してください。解決しない場合は修理をご依頼ください。
E2	機器内部の温度が高すぎます。10 分間フラッシュの発光を停止してください。
E3	フラッシュ管の両端の電圧が過剰です。点検・修理を実施してください。

故障診断ガイド

使用中に問題が発生した場合は、本トラブルシューティングガイドをご参照ください。

問題	考えられる原因	対処方法
フラッシュが発光しない	フラッシュが正しく取り付けられていない	フラッシュのホットシューをカメラ本体に確実に取り付けてください
	フラッシュおよびカメラの電子接点が汚れている	フラッシュおよびカメラの電子接点をきれいに清掃してください
電源が自動的にオフになる	マクロフラッシュをマスターライトとして使用している場合、メニューの STBY 設定で ON を選択し、90 秒以上操作がないと省電力のためスリープモードに移行します。	本体のいずれかのボタンを押してスリープ解除してください
	マクロ用フラッシュを子機ライトとして使用する場合、メニューの RX STBY で「60 分」または「30 分」を選択してください。60 分または 30 分以上操作がない場合、省エネルギーのため自動的にスリープモードに入ります。	本体のいずれかのボタンを押してスリープ解除してください
電源が入りません	電池が切れているか、または電池が故障しています	充電済みの電池、または新しい電池に交換してください

子機ライト時 発光しない	子機ライトでの発光グループ設定が正しくありません。例：マスターライトのBグループがオフ状態で、子機ライトのフラッシュグループ設定がBになっている場合。	子機ライトの発光グループを正しく設定してください。
	マスターライトと子機ライトの伝送チャンネルが一致していません。	マスターライトと子機ライトの伝送チャンネルを同一に設定してください。例：マスターライトのチャンネルを01、子機ライトも01に設定します。
	子機ライトがマスターライトの無線伝送範囲外にあります。	子機ライトをマスターライトの無線伝送範囲(0～100m)内に設置してください。
	マスターライトと子機ライトが近すぎるため、正常に伝送できません。	フラッシュの発光距離を設定してください。MENU-RF DISTで0.3～10mに設定してください。

カメラ対応一覧

MF-T76 Cは、以下のキヤノンカメラに対応しています。

A 類カメラ：80D、90D、7D、6D、70D、750D、760D、5DMarkIV、EOS 1DX、6DMarkII、77D、800D、5DMarkIII、5DMarkII、60D、7D Mark II、200DII、1500D、3000D

B 類カメラ：600D、50D、30D、500D、Digital X

C 類カメラ：M5、M50、R、RP、R7

MF-T76 Sは、以下のソニー製カメラに対応しています。

a77II、a99、a77、DSC-RX10、a6000、a7R、a350、a7RII(4.0)、a7RIII、a7M3、a9、a7RIV、a7R5、a7MIV、ZV-E10、A9III、A7C、A7CII、a6400、a6500

MF-T76 Nは、以下のニコンカメラに対応しています。

D800、D750、D700、D610、D500、D200、D300S、D5、D4、D810、D780、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3100、D60、Z6、Z7II、Z8、ZFC

- 注：1. 本表には、現在テスト済みのカメラ機種のみを記載しています。その他の機種については、ユーザー自身で動作をご確認ください。
2. Aクラスのカメラは2.4G ワイヤレス後幕シンクロに対応していません。Bクラスのカメラは2.4G ワイヤレス後幕シンクロおよびGr モードに対応していません。Cクラスのカメラは2.4G ワイヤレス後幕シンクロおよびAF フォーカス補助ライトに対応していません。
3. 弊社は将来的に内容を変更する権利を有します。

ファームウェアアップグレード

Godox 公式ウェブサイト (<https://www.godox.com.cn/firmware-G3/>) にアクセスし、ソフトウェアおよび最新のファームウェアファイルをダウンロードしてください。

接続：本機の電源を切った状態で、付属のUSB-Cケーブルを使用しパソコンへ接続します。

アップグレード: G3 ソフトウェアを起動後、ファームウェアファイルを選択しアップグレードを実行します。

技術仕様

名称	マクロツインフラッシュ
型名	MF-T76 C / MF-T76 S / MF-T76 N
フラッシュ出力 (1/1 段)	76 Ws
ガイドナンバー (1/1 段)	約 GN22.4 (ISO100、メートル単位)
発光出力	範囲 1/1 ~ 1/256、ステップ 1/3
発光露出補正	範囲 -3.0 ~ +3.0、ステップ 1/3
フラッシュ持続時間 (t0.1)	1/700s ~ 1/19300s
フラッシュ回数 (1/1 段階)	約 550 回
リサイクルタイム (1/1 段階)	約 1.2 秒
発光モード	TTL 自動発光、M マニュアル発光
フラッシュヘッドの回転角度	0° ~ 150°
モデリングランプ出力	1 W × 2
モデリングランプ色温度	4800K ± 300K
無線伝送距離	0-100 m
チャンネル	32 グループ: 01-32
ID 番号	99 個: 01-99
ハイスピードシンクロ	搭載
後幕シンクロ	搭載
フロントカーテンシンクロ	搭載
リチウム電池	7.2V/2980mAh
動作環境温度	-10 ~ 50°C
フラッシュヘッド寸法 (接続ケーブルを除く)	75.5 mm × 81.5 mm × 30 mm
コントローラー寸法 (接続ケーブルを除く)	136 mm × 70.5 mm × 62 mm
質量 (電池を除く)	約 466 g

上記の全仕様は Godox のテスト基準に基づいています。仕様およびパラメーターは予告なく変更される場合があります。

保守・点検

耐衝撃保護：本機器は強い衝撃や振動により機能異常が生じる可能性があります。

乾燥状態を保つこと：本製品は防水仕様ではありません。濡れた手でのご操作や、雨天、浴室など湿度の高い場所での使用は厳禁です。

温度適応：避極端な温度変化を避けてください。特に、低温環境から高温環境への急激な移動は、内部結露の原因となる場合があります。温度変化が大きい場合は、機器を事前に保護袋に入れて保管することで、温度ショックを低減できます。

磁場干渉の回避：無線放送送信機などの強い電磁場源から離してご使用ください。電磁干渉により機器性能が低下するおそれがあります。

製品保証

お客様各位、本保証書は保証サービスを受ける際の重要な証明書です。販売店と共に必要事項をご記入の上、必ず大切に保管してください。

製品情報	型名	製品バーコード
ユーザー情報	氏名	連絡先電話番号
	ご住所	
販売店情報	名称	
	連絡先電話番号	
	ご住所	
	販売日	
備考		

注：本表は販売店の押印によってご確認ください。

製品情報

本書は、関連する『製品保証情報』（後述）に記載された製品に適用されます。その他、該当範囲外の製品や部品（販促品、景品、その他出荷後に追加された部品等）は本保証の対象外となります。

保証期間

製品および部品の保証期間は、関連する『製品保証情報』に従い設定されています。保証期間は、製品の初回購入日より起算し、保証書に記載された購入日を基準とします。

保証サービスのご利用方法

製品の販売店や認定サービス機関に直接ご連絡いただくか、Godox 製品のアフターサービス専用ダイヤルまでお電話いただくことで、当社のサービススタッフがご対応いたします。保証サービスを申請される際には、有効な保証書をご提示いただくことが、保証対応の条件となります。有効な保証書をご提示いただけない場合でも、当社にて製品または部品が保証対象であると判断した場合には保証対応を行う場合がございますが、これは当社の義務とするものではございません。

保証対象外となる場合

製品が次のいずれかに該当する場合、本書に記載の保証およびサービスの対象外となります：
①製品または部品が所定の保証期間を経過している場合；②誤った、または不適切な使用・保守・保管に起因する故障や損傷（例：不適切な輸送、製品の想定用途以外での使用、不適切な外部機器の接続・取り外し、落下や外部からの圧力による損傷等）；不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ性物質への接触または曝露、水没や多湿な環境での使用・保管；
③ Godox の認定を受けていない機関または担当者による設置、修理、変更、追加、取り外しに起因する故障や損傷；故障；④製品または部品本来の識別情報が改変もしくは抹消された場合；⑤有効な保証書がない場合；⑥正規の認可を受けていない、または標準外・非公開のソフトウェアを使用したことによる故障または損傷。⑦不可抗力もしくは予期しない事象による故障または損傷。⑧その他、製品本体の品質問題によらない故障または損傷。
上記のいずれかに該当する場合は、関係する責任当事者へ対応をご相談ください。Godox はこれらについて一切の責任を負いません。保証期間外または保証対象外の部品、付属品、またはソフトウェアに起因し、製品が正常にご使用いただけない場合、その故障は保証の適用対象外となります。製品のご使用過程における通常の色落ち、摩耗、消耗については、保証の対象となりません。

製品保証およびサービスサポート情報

製品の保証期間とサービス内容は、以下の《製品保証情報》に基づいて適用されます。

部品	保証期間（月）	保証サービス種別
内部回路基板	12	お客様による持ち込み修理
その他（例：フラッシュチューブ、外装、保護カバー、ロック機構、各種ケーブル、その他のパッケージ類）	なし	保証なし

Godox 製品アフターサービス専用ダイヤル 0755-29609320-8062